

市民スタッフ (G-free) 紹介

◆◆ 山口 陽子 ◆◆



4年ほど前に、ある講演会でパンフレット渡しをしたのをきっかけに市民スタッフのことを知りました。イベントに参加できる楽しさを体感し、これからは皆さんの仲間入りと思っていた矢先、仕事を再開したため、年1,2回の参加という名ばかりのスタッフですが、温かく迎えていただき感謝しています。これから時間の余裕がでてきたら、まだまだ知らない映画やコンサートにいっぱい出会いたいと思っていますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

◆◆ 飯田 由美子 ◆◆



四年前に身の回りの環境が大きく変わりました…。『ハレの日』の穏やかな緊張感が心地よかった私は、市民スタッフの存在を知り、何もわからないまま直ぐに加入しました。「市民スタッフ事業」「ぎふアジア映画祭」の作品が豊かな知識と歓声を持ったスタッフの方々により、多くの時間を費やして選定されていることに驚き、感動しました。私も表方としてその日足を運んで下さったお客様が気持ち良く会場を後にされるよう、心を込めて努めたいと思います。

岐阜市民会館、岐阜市文化センターで、活動する文化ボランティアを募集しています。

市民スタッフ「G-free」募集!!

【活動内容】

- * 市民会館・文化センター主催事業の補助 (受付や案内等)
- * 文化事業の新規企画
- * ぎふアジア映画祭の運営 (作品選定・企画・広報等)
- * カメラ・ビデオなどの記録撮影
- * イラストの作成 (活動誌など)



岐阜市文化センター TEL: 058-262-6200

岐阜市民会館

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地
TEL 058-262-8111 FAX 058-262-8114
<http://gifu-civic.info>

岐阜市文化センター

〒500-8842 岐阜市金町5丁目7番地2
TEL 058-262-6200 FAX 058-262-6229
<http://gifu-culture.info>



岐阜市民会館・岐阜市文化センター 市民スタッフ活動報告誌



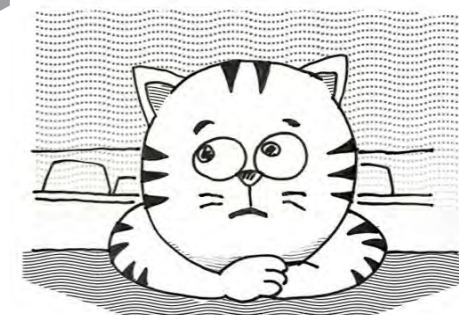
G-free

第13号

平成26年3月31日

第13号

平成26年3月31日





第35回ぎふアジア映画祭

Report 平成25年9月8日~12月8日

「ぎふアジア映画祭」本年度は10カ国15作品を上映いたしました。上映作品に併せての特別企画は、「森岡朋子さんのゲストトーク」、「インド古典舞踊のワークショップ・舞踊公演」、など多々ありましたが、楽しんでいただけたと思います。また、エンディング企画「ヤン・ヨンヒ監督ゲストトーク」では、作品に込められた監督の想いや撮影の裏話を聞かせていただきました。



オディッシーダンスWS

東インドオリッサ州の寺院にて、マハリ（巫女）と呼ばれる女性が神に奉納する舞踊の「オディッシーダンス」は「生きた彫像」と形容されているように、動きも音楽も美しくリリカルな踊りでした。参加者30名ほどの皆さんと共に、「マンガラチャラン」という演目の

ガネーシャ神をたたえる踊りを習いました。講師・佐藤先生の身体全体からの力強さと、指先に至るまでのしなやかな動きに魅了されてしまいました…。いざ習い始めると、複雑すぎるステップや振り付けにとっても付いていけそうになかったのですが、皆さん諦めずに真摯に取り組まれていて、広い会場が熱くなり、レッスンの終了する頃には笑い声と満足感に溢れた素晴らしい体験になりました。

(市民スタッフ 飯田由美子)



ヤン・ヨンヒ監督ゲストトーク

12月8日日曜に上映の『かぞくのくに』が今年度の最終作品でした。

当日はうららかな天候で、作品に合わせて、文化センター会場ではドングレ茶のおもてなし、チマチョゴリの試着など、女性客を中心に多くのお客様がご来場下さいました。迎える職員、市民スタッフも笑顔満載でお祭りを楽しませていただきました。

ヤン・ヨンヒ監督をお迎えしてお話しいただきたい！！

『かぞくのくに』が上映作品に決定したときからの大きな期待がトークショーという形で叶い、当日お迎えしたヤン・ヨンヒ監督はクールビューティ！！

美しく、不屈の魂がかいま見られました。

また、他のメディアでは出なかった監督のお話が、トークショーの会場質問によって、生の声で聞くことも出来ました。

なんと幸せなことでしょう。続いてサイン会、話しかけたファンたちが著書や映画パンフレット、DVDを買い求め、列を連ねました。

市民スタッフに参加させていただき、こんな感動を体験しました。人と人の関係性が映画を生み出す原動力でもあるのでしょうか。

さあ、来年はどんなドラマがあるのか。楽しみです。新たな仲間を歓迎します。そして喜んでいただける作品選定を楽しみながら戦います。

2014年の『ぎふアジア映画祭』へも乞うご期待！！

お待ちしております。

(市民スタッフ 竹川雅美)



平成25年
12月14日(土)、15日(日)

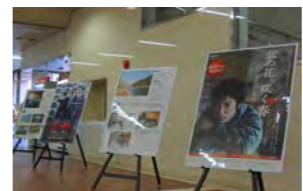
銀座の恋の物語 & うたごえ広場

あの頃のときめきを再び

平成25年12月14日・15日の二日間、岐阜市文化センターにて石原裕次郎さん主演の昭和37年青春歌謡映画が上映されました。展示コーナーでは昔の給食見本や、上映当時のポスターの展示のほか、コーヒー・パンの販売、岐阜フィルムコミッションさん協力の岐阜ロケ映画の展示などなど…。映画上映の後は、ピアニストの宇野正志さんによるピアノ演奏！映画と絡めての演出で一層盛り上がりしました。市民スタッフ企画恒例のうたごえ広場では、合唱の先生方とお客さまと一緒に歌っていただきました。



昔の給食見本
協力：(公財)岐阜県学校給食会



岐阜ロケ作品パネル展示
協力：岐阜フィルムコミッション

宇野正志さんのピアノ演奏



宇野正志さんのピアノ演奏

12月14日と15日、映画「銀座の恋の物語」上映後、宇野正志さんのピアノ演奏がありました。宇野さんは裕次郎の歌350曲から200曲を聴き選曲されました。「歌謡曲をピアノだけで引くと歌詞はなくなってしまいます。今回はもともとピアノ曲のように編曲しました。」との説明の後、トイピアノも使い演奏されました。曲によってはクラシックコンサート会場にいるような、また、ジャズラウンジにいるような調べに、皆うっとりとして聴き入っていました。

(市民スタッフ 中島幸子)



初めて市民スタッフに参加して…

昨年夏、広報ぎふを見て市民スタッフ参加することになりました。長年の海外生活から戻り、何か地域社会に順応したいと思っていた矢先だったので、即ボランティアの何たるかも知らずに、参加することにしました。当時は既にそれぞれのイベントも具体的になっており、本番前の準備に携わり、本番を迎えました。ボランティアの本質を知らなかったため、多少の戸惑いはありましたが、本番体験後の充実感を味わうことができました。定年後の再就職にあたって、企業での経験が逆に災いとなるケースがあるように、スタッフ会議の運営方法になれない面が少しあった点を差し引けば、かなり満足できたのではと思っています。

(市民スタッフ 井本孝)



年から市民スタッフの企に参加して、年のいと会うことが多くなりました。にすにったりしいというではなく、と時しのように参加していますが、の中にはがたるのだなとされています。これからはなるだけ参加します。

(市民スタッフ)